

月報

あすの九州・山口

K Y U K E I R E N M O N T H L Y 2 0 1 5

巻頭言

九州経済の更なる発展に向けて

(一社)九経連 理事 橋田 紘一 ((株)九電工 取締役相談役)



「明治日本の産業革命遺産 九州・山口と関連地域」
端島炭坑(長崎県長崎市)

4

APRIL

DIARY

2月

FEBRUARY

農業に関するお話を頂いた。

その後の報告事項では、「九州産直市場検討協議会」「オール九州食品商談会in大阪(総括)」「ハウス農業への地中熱エネルギー利用研究会」「オール九州農水産物トレードフェアinシンガポール」についての現状報告を行った。「オール九州食品商談会」については、来年度も関東地域で開催する方向で補助金を取得することとなった。

審議事項においては、来年度の事業計画(案)が了承された他、要望(案)については、4/1以降に設置される新たな企画部会、林業部会、水産部会において引き続き審議する予定である。

なお、本企画部会は2年の任期制をとっており、次回開催からは新メンバーにて開催する。

(産業第一部 真次)

12日(木)

平成26年度 第2回鹿児島地域委員会

鹿児島市・城山観光ホテル

出席者：29名

平成26年度第2回目となる本委員会では、海外展開(輸出)、観光促進をテーマとした講演や意見交換が行われた。

講演会では(株)ANA Cargoソリューション企画部の長尾猛彦部長より「沖縄貨物ハブ概要と活用」、(一社)九州觀光推進機構の高橋誠専務理事より「九州の觀光戦略と九州觀光推進機構の取組み」を演題として、ご講演いただいた。また、九経連本部報告として国際ビジネス推進室(IBC)より取り組みを報告し、本委員会のテーマである輸出や觀光に関する説明・報告を行った。

意見交換では、鹿児島の離島を含めた九州の広域觀光開発について取組みの要望が出されるとともに、離島の価格競争力の現状、空輸と海運との違いお

よび利点、九州オルレの趣旨等に対する質問が出された。〔総務部 知名〕

13日(金)

国際委員会 アセアン懇談会

福岡市・九経連会議室

出席者：19名

国際委員会は、2015年に経済統合予定のASEANでの九経連会員のビジネス等を後押しするため、「アセアン懇談会(座長：国際委員会企画部会長の龍造寺健介氏)」を初めて開催した。今回の対象国は、ASEANの生産拠点、大消費市場であり会員の関心が高い国「タイ」とした。

懇談会では、ジェトロ海外調査部調査企画課の若松勇課長より「変化するタイ～最新政治経済状況とメコン地域～」、西村あさひ法律事務所バンコク事務所の小原英志代表(弁護士)より「タイへの進出と進出後の課題」について講話が行われた。その後、日本タンクステン(株)超硬部品部製造技術グループの田中宏季リーダーが「タイにおける金型パーツ類の製造・販売」、(株)テクノスマイルE&B事業部の野々山直樹部長が「タイ2大学へ日本語クラスの開設～グローバルな職場づくり支援～」について説明し、現地の実情を紹介した。

質疑応答は2回に分けて行い、講師よりJV設定によるタイ現地法人設立、機器代理店・組立工場の調査、契約締結の進め方、タイでの日本語需要等についてきめ細かなアドバイスを受けた。



懇談会終了後のアンケート調査では、回答者から「タイに進出する上で、色々な視点での大枠が認識できた」との感想が寄せられており、会員の海外展開に役立つ懇談会として評価された。

(国際部 松尾)

13日(金)

情報通信委員会 第2回企画部会

福岡市・TKP ガーデンシティ福岡渡辺通

出席者：33名

情報通信委員会では、平成26年度第2回企画部会を開催し、議事として、本年度の委員会活動を報告した後に、次年度委員会の事業計画(案)及び中長期事業計画(案)について審議を行い、了承をいただいた。

次に、今年度試行している災害時情報共有トライアルの状況を紹介し、来年度に向けてさらなる利活用を求めた。さらに、観光、ビジネス等に活用可能な九州の主要都市におけるWi-Fi環境について、今年度実施した調査結果を報告した。Wi-Fi環境整備の有用性が高まりつつあることを再認識するとともに、次年度においては、九州内の公衆無線LANサービスの統一に向けて活動を行うことを説明した。

また、議事終了後に、サイバーセキュリティ業界では著名な(株)ラックの西本逸郎取締役CTOに、「昨今のセキュリティ事情」と題して、サイバーセキュリティの詳しい現状について、ご



(株)ラック 西本取締役によるサイバーセキュリティの講演